

2-1 ②石油ファンヒーターを効率よく使う

石油ファンヒーターの温風を、**省エネ温風パイプ**を使って、炬燵およびテーブル型炬燵に導くと、部屋と同時に炬燵もポカポカになります。エネルギーとCO₂の節減になります。

また、テーブル型炬燵の周りを**古毛布等**で囲い、温風をパイプまたは直接その囲いに導くと、部屋と同時に暖かくなります。私は写真のように、一か所を開けて、温風を導いています。

テーブル型炬燵の下の足元にジュタンやマットで保温すると、更に暖かくなります。

いずれも、**安価で強力な暖房**。また、**乾燥しにくい**！

ただし、ファンヒーターを近づけすぎないこと。パイプがアルミの場合、熱くなるので注意してください。

そして、時々換気が必要です。

朝方の低温時には、エアコンの能力低下を補うために、まずは、石油ファンヒーターで室温を上げて、昇温後エアコンで維持する方法が多く使われています。 【文責】 赤尾 興一



こたつ用パイプでエネルギー有効活用しよう（電気不使用）

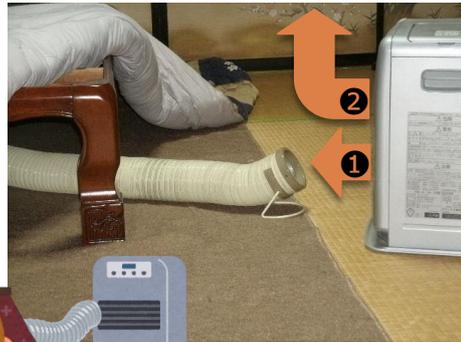
〈温風の流れ〉

朝、温風ファンを運転させると……

- ①こたつへ → 中が直ぐに温まる
- ②部屋へ → 徐々に部屋全体が温まる

※天井に溜まった温風を、

サーキュレーターや扇風機で循環させると更に効果的です。



【文責】 山岸 恒夫

我が家の「豆炭こたつ」

使い方 利用初日に専用の火起こしに入れてガスで加熱し、燃焼器具 [写真] に入れやぐらにセット。その後は朝晩、豆炭を追加するだけでOK。我が家流の追加の方法は朝、灰を取り除き、残った火種の横に新しい豆炭をくっつけて、夜は朝入れた豆炭の横に新しい豆炭を置く。手間はかかるけれど、豆炭こたつだけで部屋が一日中暖かいし、電源不要なのでどこにでも置ける災害時の強い味方だ。

暖房以外にも！ ①「**温蔵庫**」として利用し、電子レンジで利用時のエネルギーを

節約。朝炊いたご飯はプラスチック容器に入れて、揚げたての揚げ物はラップをかけて、熱くしたい場合は燃焼器具の下に、適温状態に保つ場合は隅っこに置く。汁物は取り扱いが大変なので入れないようにしている。

②「**衣類乾燥機**」としての利用。晴天の日が多く乾燥していると言われる東信地域でも、取り込んだ洗濯物は「冷たい」ので、陽辺りの良い室内に広げたり、こたつの中に入れて暖める。重宝です！

【文責】 宮原則子



*豆炭は、石炭や木炭の粉を原料にして整形して固めたもので、100年くらいの歴史があります。木炭系はバイオマスの有効利用としてほぼゼロカーボンですが、石炭系はゼロカーボンとは言えません。しかしながら、発電で多くの化石燃料が使われている電気こたつと比較すると、少ない量で効率よく寒さ対策でき、CO₂削減にも寄与します。